

考に記すことにする。古刀、新刀、新々刀、現代刀を昭和十二年から今日まで五十数年研究し、その間、特に戦事中関東軍にて第二次山下兵団南方斬込隊実戦武道特別教官を拝命し

たし。次に刀のバランスであるが、古刀は室町時代前(約四百年前)は馬上斬りであったので片手斬りのため、中心(柄の中に入っている刀の握り部)が短いので、

には五寸以下の刀もあるの斬れる刀、第二が美術である、柄握りが柄頭を空け、りと信じて止まない次第で、

者の御参

スポーツチャンバラ 第十六回日本選手権 兼 世界大会

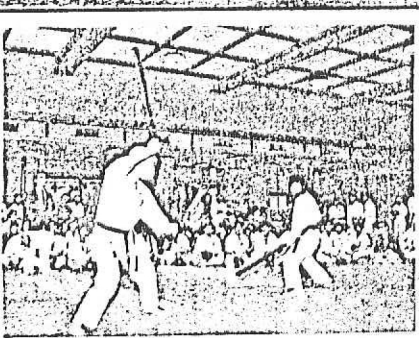
今様寛永御前試合

(得物自由)

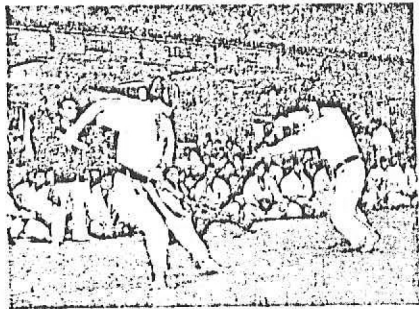
優勝は槍の達人 田邊賢一 五位

二位は二刀流 横山久道四位

三位は長棒(二刀)を自在に振りまわした山本郁雄四段、二刀の細川健一五段。杖(一・二刀)の板橋初段が入賞した。



写真上 二刀対槍の試合。鮮やかな二刀の太刀さばきに際を見せぬ槍。



写真下 なぎなた対長棒(2m)長い武器を使っている見事な試合。

チャンバラは、アメリカ、韓国よりも参加し、選抜成年の部(初少年大会は七月に終了)五〇〇余名が参加して盛大に実施された。

途中で敗退した。メインイベントの「得物自由」は二刀と槍の決勝となったが、小学生時代より百戦錬磨槍の田邊賢一五段が横山久道四段(二刀流)を眼にも止まらぬ剛突きで一本勝をし、優勝の栄冠に輝いた。

ある中心が良好で、自分の所持する刀の中心に注目すべきが、刀法上のたしなみではなかるうか。

伊佐・加藤寛(東京細川) 三、四段の部 ①島田陽久(東京島田) ②田邊賢一(神奈川田辺) ③池ヶ谷裕次(神奈川本部) 栗田稔仁(神奈川飯田)

川田辺・横山久道(神奈川横山) 優勝 横山久道(神奈川横山) 二位 伊佐三男(新潟伊佐) 三位 田邊賢一(神奈川田辺) 山本郁雄(神奈川山本)

優勝 群馬県養正会 二位 東京田邊道場 三位 神奈川田辺A 敢闘賞 姫路誠 館 神奈川本間 埼玉原、東京馬込 東。 ※得物自由 小太刀(七十センチ)長剣(一メートル)二刀・槍(一・八メートル)杖(一・二メートル)長棒(二メートル)なぎなた(一・八メートル) 以上

【成績】

☆今様寛永御前試合 (得物自由)

優勝 田邊賢一(槍・本部) 二位 横山久道(二刀流・神奈川横山)

三位 細川健一(二刀流・神奈川細川)

板橋正憲(杖・神奈川本部) 山本郁雄(長棒・神奈川山本)

☆護身剣道

▽無段の部 ①朝日奈秀(東京田辺) ②高橋勉(神奈川横山) ③古原誠(埼玉原増田実(同))

▽初段の部 ①宮根幸治(神奈川本間) ②松尾雄一郎(神奈川関城) ③一円正之(東京田辺) ④西川完(新潟伊佐)

▽二段の部 ①佐々木誠(静岡堀田) ②門川治郎(東京田辺) ③高橋増司(新潟京田) ④高橋増司(新潟京田)

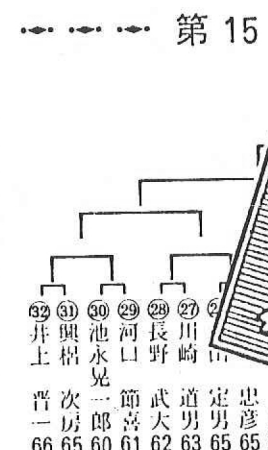
☆小太刀護身道

▽無段の部 ①高橋増司(新潟伊佐) ②千野淳一郎(新潟伊佐) ③島田陽久(東京島田) ④菅田敏則(新潟伊佐)

▽初段の部 ①板橋正憲(神奈川田辺) ②加藤寛(東京細田) ③佐藤真奈布(神奈川田辺) ④渡辺淳(神奈川本間)

▽二段以上 ①川野敏夫(東京島田) ②鴻田征彦(東京田辺) ③田邊賢一(神奈川田辺)

△全日本護身道連盟事務局 通信



この一冊で「スポーツチャンバラ」がよくわかる！

大反響 発売中 スポーツチャンバラ のすすめ

田辺哲人著 叢文社

●定価2,000円 ※お求めは各書店へ 品切れの場合 ☎045-664-7198

国際スポーツチャンバラ協会

(全日本護身道連盟内)

〒231 横浜市中区長者町2-5-4 白井ビル1101